

# FunBiz

Vol. 4

第4期中間期 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

私たちは、  
世界中のあらゆる人びとに

# 夢と感動

溢れるエンタテインメントを  
提供し、豊かな社会の実現と  
文化の創造に貢献します。

# 連結財務ハイライト

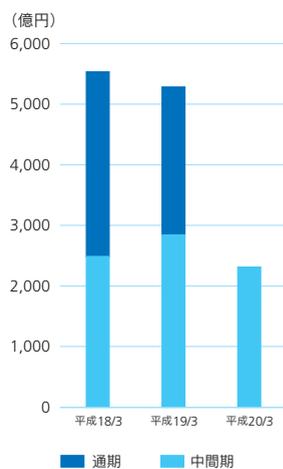
(単位：百万円)

科目	前中間連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	当中間連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)
売上高	283,551	231,053
営業利益(△損失)	62,931	△4,384
経常利益(△損失)	66,029	△3,929
中間純利益(△損失)	37,997	△20,266
1株当たり中間純利益(△損失)(単位:円)	150.80	△80.44
1株当たり中間配当額(単位:円)	30.00	30.00

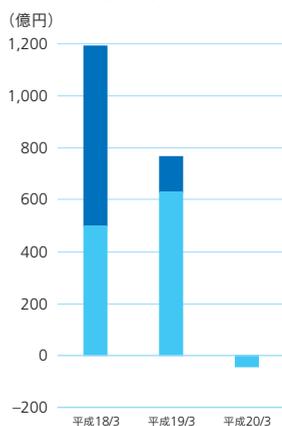
  

	前連結会計年度末 (平成19年3月31日現在)	当中間連結会計期間末 (平成19年9月30日現在)
総資産	549,940	516,442
純資産	358,858	321,804

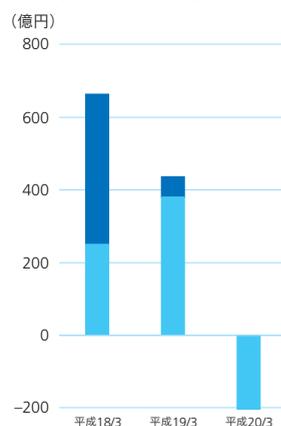
## 売上高



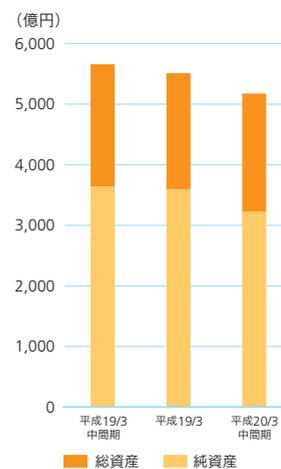
## 営業利益(損失)



## 中間(当期)純利益(損失)



## 総資産及び純資産



# 株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

セガサミーホールディングス株式会社の第4期中間期(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)の業績をご報告するにあたり、ここに謹んでご挨拶申し上げます。

当中間期における当グループの業績は、連結売上高2,310億円、経常損失39億円、中間純損失202億円となり、誠に遺憾ながら前年同期比で減収減益という結果となりました。株主の皆様のご期待にお応えすることができなかったことを真摯に受け止め、深くお詫び申し上げます。

業績主要因といたしましては、パチスロ遊技機事業における新たなスペックの積極的な開発推進に伴う主力タイトルの許認可取得遅延や、パチンコ遊技機事業における品質向上を目的とした一部タイトルの販売延期により、パチスロ遊技機・パチンコ遊技機ともに販売台数が前年同期実績を下回ったほか、パチンコホールのパチスロ新基準機への移行に伴う業界協調施策として提供した期間限定での特別割引・レンタルプランによる遊技機事業の収益率低下、アミューズメント施設事業における既存店舗の低迷、国内ゲームソフトの販売不振等が挙げられます。

こうした経営状況において当社は下記のとおり経営課題を認識し、その解決に向け取り組んでまいります。

まずはパチンコ遊技機事業の強化についてです。パチンコ遊技機事業はパチスロ遊技機事業と比較しても市場規模が大きく、シェア拡大の余地が非常に大きいことから、パチスロ遊技機事業に続く収益の柱とすることが経営の重要課題として認識しております。前期下半期よりスタートした新たな開発体制をさらに強化していくことで、確実にヒットを生み出し、シェア獲得を実現し得る体制を整えてまいります。具体的には、各開発主要ポイントにおいて外部監査も含めたクオリティチェックを厳格に運用するとともに、外部開発機関を採用することで多様な企画開発を推進いたします。

次にアミューズメント施設事業における収益改善についてです。今期通期見込みにおいて営業損失の計上を見込むなど、アミューズメント施設事業における収益改善は重要な経営課題のひとつです。セガにおいては、これまで実施した各店舗の将来性・採算性の評価に基づき、粗利ベースで低採算店100店舗近くの閉店または売却を決定しております。今後は、店舗ポートフォリオの最適化に向けて、既存店舗のスクラップ・アンド・ビルドを徹底するとともに、明確化した新規出店基準に基づき戦略的な出店を行います。また、事業全体の収益性を抜本的に改善するために、運営力の強化を通じた売上強化策など、追加的な施策を打ち出してまいります。

最後に国内コンシューマ事業における収益改善についてです。新たなプラットフォームの普及が進み、市場の拡大が続くなか、当グループの収益率はまだ低く、特に国内コンシューマ事業における収益改善を重要な経営課題として認識しております。今後、ラインナップ戦略を見直し、重点タイトルを明確化することによって、開発リソース、宣伝広告費等の効果的な配分を行います。また、自社開発タイトル、外注開発タイトルを戦略的に組み合わせることにより、自社開発陣の有効活用と開発費の抑制を実現します。

通期見通しにつきましては、売上高5,400億円、経常利益200億円、当期純利益10億円を見込んでおります。

セガサミーグループでは、来期以降の収益回復および長期的な成長を実現するべく、今期中に収益体質の抜本的な改革を断行し、強靱な組織の構築を図ります。セガサミーグループ全社一丸となって邁進してまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年12月

里見 浩

代表取締役会長兼社長

# Topics

## あのパチスロ「北斗の拳」が新基準機で初登場 — 「パチスロ北斗の拳2 乱世霸王伝 天覇の章」

業界史上最多販売台数という金字塔を打ち立て、その後も継続的な人気を誇るパチスロ「北斗の拳」シリーズ。サミーは、平成19年7月より、その最新作となる「パチスロ北斗の拳2 乱世霸王伝 天覇の章」を、シリーズ初の新基準機として発売しました。

今回の主役は、前作までケンシロウと死闘を繰り広げたラオウ。全面液晶「ドーナツビジョン」や、最先端のグラフィックチップを今回より採用することで、これまで以上に大迫力かつ、クオリティの高い映像美を実現し、「北斗の拳」の世界観を忠実に再現しました。これまでファンの根強い支持を獲得してきた「バトルモード」を進化させた「霸王モード」を新たに搭載し、幅広いプレイヤーが楽しめるゲーム性も実現しました。サミーは、今後とも、ユニークな発想力と開発力を駆使し、プレイヤーの裾野を拡げ、業界の活性化と発展に貢献していきます。



「パチスロ北斗の拳2 乱世霸王伝 天覇の章」  
© 武論尊・原哲夫 / NSP1983 版權許諾証 SAD-304, © Sammy

## セガ、映画「ライラの冒険」シリーズのゲームを全世界で発売



「The Golden Compass (邦題：黄金の羅針盤)」

株式会社セガ(以下、セガ)は、小説「ライラの冒険」シリーズ3部作を原作とする映画に基づいたゲーム制作に関するライセンス契約を New Line Cinema 社および Scholastic Media 社と締結し、全世界で映画公開に合わせてゲームソフトを発売いたします。

「ライラの冒険」3部作は、英国人作家フィリップ・プルマンの原作で、全世界で1千万部を売り上げたベストセラー小説です。同シリーズは、「The Golden Compass (邦題：黄金の羅針盤)」、「The Subtle Knife (邦題：神秘的短剣)」、「The Amber Spyglass (邦題：琥珀の望遠鏡)」の3作からなり、平成19年12月7日(日本公開：平成20年3月1日)には、制作費1億5,000万ドルをかけた超大作として「The Golden Compass (英国名：Northern Lights、邦題：ライラの冒険 黄金の羅針盤)」をもとにした映画が全世界で公開されます。制作は、「The Lord of the Rings」シリーズ3部作の New Line Cinema 社の制作スタッフが担当し、主演には、オスカー受賞女優ニコール・キッドマンや映画「007/カジノ・ロワイヤル」で主役ジェームス・ボンド役を務めるダニエル・クレイグといった実力俳優が決定しています。

セガは、撮影開始時から出演者の映像やCG動画など素材の優先的な提供を受け、映画とゲームの世界観をできるだけ近づけるように制作を推し進めてきました。欧米では、原作の認知度が極めて高く、映画公開と同時に発売されるゲームにも大きな期待が寄せられています。

## 当社子会社(サミー株式会社)とタイヨーエレクトリック株式会社との事業提携の進捗

サミーは、平成19年3月、パチンコ遊技機・パチスロ遊技機・アレンジボール遊技機の開発・製造・販売を手掛けるタイヨーエレクトリック株式会社(JASDAQ証券取引所上場 証券コード6429)による第三者割当増資を引受け、パチンコ遊技機・パチスロ遊技機・アレンジボール遊技機・じゃん球遊技機・その他エンタテインメントに関連する事業の提携および資本の提携に関する基本合意書を締結しました。基本合意以降、サミーとタイヨーエレクトリックは、遊技機の開発、生産及び販売の各分野において提携内容の協議を行ってきました。そして、このたびサミーは、タイヨーエレクトリックが開発を進めてきたタイヨーエレクトリックブランドの主力パチスロ機「伝説の巫女」をサミーの全国販売網を通じて販売することを平成19年11月9日開催の取締役会において決議しました。

今後もパチンコ・パチスロ遊技機業界ならびに両社の発展を目指し、両社の協力関係を強固なものへと進めていきます。

## キッズ向けカードゲームとリズムアクションダンスゲームを融合させた全く新しいタイプの業務用ゲーム「マジカルダンス オン ドリームステージ」発表

平成19年11月より全国のアミューズメント施設、ショッピングセンター等にて稼働を開始した「マジカルダンス オン ドリームステージ」は、セガの「甲虫王者ムシキング」や「オシャレ魔女 ラブ and ベリー」等のヒットにより市場が確立された業務用キッズ向けカードゲームの最新作です。ディズニーキャラクターが登場する本製品は、従来のキッズ向けカードゲームとは異なり、画面上

のキャラクターの動きに合わせてプレイヤーが実際にステップを踏んで踊る新しい操作性が特徴です。ディズニーキャラクターを描いたカードは60種類あり、今後もバージョンアップにあわせて増える予定です。

また、多数のディズニーキャラクターが一堂に会する業務用カードゲームは本製品が初となり、カードのコレクション性はもとよりディズニーキャラクターと一緒に踊る楽しさも付加され、小さなお子さまから大人まで幅広いお客さまにお楽しみいただけます。

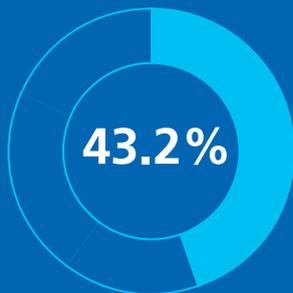
「マジカルダンス オン ドリームステージ」は、ディズニーの高いブランドイメージと老若男女を問わない人気に加え、セガの持つ技術開発力とコンテンツノウハウが集積されており、アミューズメント業界に革新をもたらす製品として活躍することが期待されます。

「マジカルダンス オン ドリームステージ」  
© Disney



# 遊技機事業

売上高構成比率



「Devil May Cry 3」  
© CAPCOM CO., LTD. 2005 ALL LIGHTS RESERVED./  
ILLUSTRATIONS: Kazuma Kaneko / ATLUS  
© Sammy © RODEO



「CR サクラ大戦」  
© SEGA © RED © Sammy

遊技機業界におきましては、平成 16 年 7 月に施行された「風通法施行規則等の改正」を受けて、平成 19 年 9 月末までにはほぼ全てのパチスロ遊技機が旧基準機から新基準機に入替わるという大きな転換期を迎えました。また依然として、パチンコホール数の減少傾向は続いており、斬新な新基準機の積極的な開発・供給により幅広いユーザーを獲得し、市場を活性化することが業界の課題となっております。

パチスロ遊技機事業におきましては、空前の大ヒットとなった『パチスロ北斗の拳』『パチスロ北斗の拳 SE』の後継機であり、映像表現力をさらに向上させた『パチスロ北斗の拳 2 乱世霸王伝 天覇の章』や『Devil May Cry 3』など、多様な新基準機をパチンコホールの新基準機への移行にあわせて投入したことにより、パチスロ遊技機全体で 310 千台を販売し、グループでトップシェアの地位を堅持しました。なお、当中間期においてはパチンコホールの新基準機への移行をサポートする業界協調施策として期間限定でのパチスロ遊技機のレンタルサービスを提供したこと等により、前年同期と比較してパチスロ遊技機の収益率が低下いたしました。

パチンコ遊技機事業におきましては、株式会社セガの人気ゲーム『サクラ大戦』のコンテンツを活用した『CR サクラ大戦』の販売が

好調に推移したものの、品質向上を目的に一部タイトルの販売を延期したこと等により、パチンコ遊技機全体で 56 千台の販売にとどまりました。

以上の結果、売上高は 1,002 億 91 百万円（前年同期比 31.2% の減）、営業利益は 121 億 74 百万円（前年同期比 80.9% の減）となりました。

## 遊技機の主要販売機種名及び販売台数

### パチスロ遊技機

機種名	ブランド	販売台数
パチスロ北斗の拳 2 乱世霸王伝 天覇の章	サミー	116 千台
Devil May Cry 3	ロデオ	48 千台
リングにかける 1	銀座	46 千台
パチスロうる星やつら	銀座	27 千台
ディスクアップ オルタナティブ	サミー	15 千台
その他		55 千台
<b>合計</b>		<b>310 千台</b>

### パチンコ遊技機

機種名	ブランド	販売台数
CR サクラ大戦	サミー	41 千台
CR アラジンデスティニー	サミー	7 千台
その他		7 千台
<b>合計</b>		<b>56 千台</b>

# アミューズメント機器事業

売上高構成比率



【to アミー漁】

アミューズメント機器業界におきましては、家庭用ゲーム機と  
住み分けがなされた大型のメダルゲーム機やカードシステムを  
採用した大型ビデオゲーム機が引き続きユーザーから高い支持  
を受け、市場を牽引しております。

アミューズメント機器事業におきましては、主カタイトルの販  
売を下半期中心に計画しているものの、当中間期においては  
カップルからファミリーまで楽しめる新感覚のメダルゲーム機  
『アミー漁』シリーズや新世代の競馬メダルゲーム『スターホ  
ース2 セカンドフュージョン』をはじめ、前期に発売したタイト  
ルの販売が順調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は367億31百万円(前年同期比0.6%  
の減)、営業利益は18億98百万円(前年同期比71.5%の減)  
となりました。



【スターホース2 セカンドフュージョン】

# アミューズメント施設事業

売上高構成比率



【東京ジョイポリス】

アミューズメント施設業界におきましては、店舗の大型化、複合化が進んでおり、またショッピングセンター内におけるファミリー向け施設市場の拡大が続いております。近年、市場を牽引してきたカードを利用した子供向けゲーム機は人気が一巡し、今後ファミリーをはじめライトユーザー層に向けた新たなゲーム機の登場が待たれます。

アミューズメント施設事業におきましては、既存店舗の売上高が前年同期実績を下回る水準で推移しております。またキッズカード販売については『古代王者 恐竜キング』がテレビアニメとの相乗効果等によって好調な販売を記録したものの、その他コンテンツは人気が一巡し、キッズカード全体での販売枚数は前年同期実績を大幅に下回りました。

なお、当中間期における国内の新規出店は6店舗、閉店は22店舗となり、当中間期末の店舗数は433店舗となっております。

以上の結果、売上高は479億6百万円(前年同期比10.6%の減)、営業損失は22億94百万円(前年同期は営業利益29億53百万円)となりました。

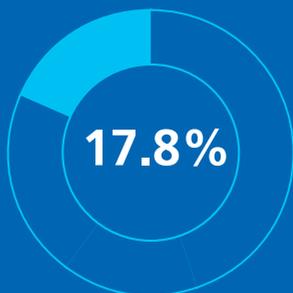


【古代王者 恐竜キング】



# コンシューマ事業

売上高構成比率



『シャイニング・ウィンド』



『Sonic Rush Adventure』

家庭用ゲームソフト・玩具業界におきましては、一昨年末より発売された新たなプラットフォームの普及が進み、ゲームソフトの需要が拡大傾向にあります。また、携帯型ゲーム機が従来のユーザーの枠を超えた幅広い層の開拓に成功しており、市場の活性化につながっております。

コンシューマ事業におきましては、ゲームソフト販売の分野において国内では『シャイニング・ウィンド』、海外では『Sega Rally Revo』、『Sonic Rush Adventure』などが堅調な販売となりましたが、国内外ともに主カタイトルの販売は下半期中心となる計画であることから、当中間期における販売本数は日本 91 万本、米国 172 万本、欧州 227 万本、その他 2 万本、合計 491 万本となり、前年同期と比較して 84 万本の減少となりました。また、開発体制の強化に伴い研究開発費が前年同期と比較して増加いたしました。

玩具販売部門においては国内における販売が低調となったものの、海外において『idog』を中心に販売が好調に推移いたしました。また携帯電話向けコンテンツ部門は堅調に推移し、アニメーション映像部門は海外販売が低調となりました。

以上の結果、売上高は 414 億 44 百万円(前年同期比 1.6%の増)となり、営業損失 125 億 45 百万円(前年同期は営業損失 67 億 63 百万円)となりました。

## その他事業

その他事業におきましては、主に商業施設等の企画・設計・監理・施工等を行い、売上高は 87 億 9 百万円(前年同期比 17.3%の減)、営業損失 2 億 14 百万円(前年同期は営業損失 4 億 14 百万円)となりました。

# 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度末 (平成19年3月31日現在)	当中間連結会計期間末 (平成19年9月30日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>312,175</b>	<b>291,079</b>
現金及び預金	146,645	136,599
受取手形及び売掛金	83,492	65,401
有価証券	996	1,996
たな卸資産	40,117	40,466
その他	41,493	47,198
貸倒引当金	△571	△582
<b>固定資産</b>	<b>237,765</b>	<b>225,363</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>111,897</b>	<b>112,189</b>
建物及び構築物	31,165	29,203
土地	46,029	47,935
その他	34,702	35,050
<b>無形固定資産</b>	<b>25,267</b>	<b>21,732</b>
のれん	18,524	15,130
その他	6,743	6,601
<b>投資その他の資産</b>	<b>100,600</b>	<b>91,441</b>
投資有価証券	63,471	49,070
その他	44,850	49,921
貸倒引当金	△7,721	△7,550
<b>① 資産合計</b>	<b>549,940</b>	<b>516,442</b>

## ① 総資産

総資産は5,164億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ334億97百万円の減少となりました。これは、売上債権の減少や投資有価証券の時価評価等による減少が主な要因となっております。なお、流動比率は181.7%となっており、引き続き高水準を保っております。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

科目	前連結会計年度末 (平成19年3月31日現在)	当中間連結会計期間末 (平成19年9月30日現在)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>153,021</b>	<b>160,159</b>
支払手形及び買掛金	71,414	71,205
短期借入金	29,244	28,471
未払法人税等	12,059	17,783
賞与引当金	1,731	1,708
役員賞与引当金	489	47
返品調整引当金	225	78
ポイント引当金	119	124
その他	37,738	40,740
<b>固定負債</b>	<b>38,060</b>	<b>34,478</b>
社債	15,695	10,220
長期借入金	1,111	3,340
退職給付引当金	8,429	8,992
役員退職慰労引当金	1,293	1,305
その他	11,531	10,619
<b>負債合計</b>	<b>191,082</b>	<b>194,637</b>
<b>純資産の部</b>		
資本金	29,953	29,953
資本剰余金	171,096	171,095
利益剰余金	221,172	192,504
自己株式	△73,656	△73,675
<b>株主資本合計</b>	<b>348,565</b>	<b>319,877</b>
その他有価証券評価差額金	4,779	△3,296
繰延ヘッジ損益	△17	△3
土地再評価差額金	△7,505	△7,505
為替換算調整勘定	△7,752	△7,695
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>△10,496</b>	<b>△18,501</b>
新株予約権	454	811
少数株主持分	20,334	19,617
<b>② 純資産合計</b>	<b>358,858</b>	<b>321,804</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>549,940</b>	<b>516,442</b>

## ② 純資産

純資産は3,218億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ370億53百万円の減少となりました。これは、中間純損失202億66百万円を計上したことと、配当金の支払により75億58百万円減少したことが主な要因となっております。

以上により自己資本比率は前連結会計年度末より3.1ポイント減少の58.4%となりました。

# 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前中間連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	当中間連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)
売上高	283,551	231,053
売上原価	158,922	172,827
売上総利益	124,628	58,226
販売費及び一般管理費	61,696	62,610
営業利益(△損失)	62,931	△4,384
営業外収益	4,364	1,851
営業外費用	1,266	1,396
経常利益(△損失)	66,029	△3,929
特別利益	760	1,745
特別損失	1,177	6,381
税金等調整前中間純利益(△損失)	65,612	△8,565
法人税、住民税及び事業税	28,746	17,198
法人税等調整額	△1,906	△5,530
少数株主利益	774	32
中間純利益(△損失)	37,997	△20,266

当グループはパチスロ遊技機事業において、主力タイトルの許認可取得が遅れたことにより販売台数が前年同期比で50千台減となる310千台となり、またパチンコ遊技機事業において、品質向上を目的に一部タイトルの販売を延期したことなどから、販売台数が前年同期比で24千台減となる56千台となりました。アミューズメント機器事業は、前期に発売した大型メダルゲーム機などの販売が引き続き順調に推移した一方、アミューズメント施設事業においては、既存店舗の収益が前年同期実績を下回りました。コンシューマ事業においては、主力タイトルの販売が下半期中心となる計画であり、当中間期においては研究開発費用の負担増が影響しております。

以上の結果、当中間期における売上高は2,310億53百万円(前年同期比18.5%の減)、経常損失は39億29百万円(前年同期は経常利益660億29百万円)となりました。また、中国関連事業並びにアミューズメント施設に対する減損損失の計上や、主にサミー株式会社における法人税等の計上により、202億66百万円の中間純損失(前年同期は中間純利益379億97百万円)となりました。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 中間連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

当中間連結会計期間(自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 9 月 30 日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成 19 年 3 月 31 日残高	29,953	171,096	221,172	△ 73,656	348,565
中間連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当			△ 7,558		△ 7,558
中間純損失			△ 20,266		△ 20,266
在外子会社の会計処理変更に伴う減少額			△ 862		△ 862
自己株式の取得				△ 26	△ 26
自己株式の処分		△ 1		7	6
連結範囲の変動			19		19
中間連結会計期間中の変動額合計	—	△ 1	△ 28,668	△ 19	△ 28,688
平成 19 年 9 月 30 日残高	29,953	171,095	192,504	△ 73,675	319,877

	評価・換算差額等					新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計			
平成 19 年 3 月 31 日残高	4,779	△ 17	△ 7,505	△ 7,752	△ 10,496	454	20,334	358,858
中間連結会計期間中の変動額								
剰余金の配当								△ 7,558
中間純損失								△ 20,266
在外子会社の会計処理変更に伴う減少額								△ 862
自己株式の取得								△ 26
自己株式の処分								6
連結範囲の変動								19
株主資本以外の項目の中間連結								
会計期間中の変動額(純額)	△ 8,075	13	—	57	△ 8,005	356	△ 716	△ 8,364
中間連結会計期間中の変動額合計	△ 8,075	13	—	57	△ 8,005	356	△ 716	△ 37,053
平成 19 年 9 月 30 日残高	△ 3,296	△ 3	△ 7,505	△ 7,695	△ 18,501	811	19,617	321,804

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前中間連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	当中間連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)
③ 営業活動によるキャッシュ・フロー	57,691	8,244
④ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,793	△10,199
⑤ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,757	△7,511
現金及び現金同等物に係る換算差額	201	△44
現金及び現金同等物の増減額	17,341	△9,511
現金及び現金同等物の期首残高	160,094	144,868
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	504	70
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△138
現金及び現金同等物の中間期末残高	177,940	135,290

## ③ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、前中間連結会計期間と比べ494億47百万円減少の82億44百万円となりました。主な要因は、売上債権が減少した一方で、前中間連結会計期間で税金等調整前中間純利益656億12百万円を計上したのに対し、当中間連結会計期間においては純損失85億65百万円を計上したためであります。

## ④ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、前中間連結会計期間と比べ175億94百万円減少の101億99百万円となりました。これは、投資有価証券の取得による支出が90億33百万円減少したほか前中間連結会計期間においては新規連結子会社株式の取得による支出78億55百万円があったためであります。

## ⑤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果減少した資金は、配当金の支払などにより、75億11百万円となりました。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

100株に満たない株式  
(単元未満株式)を  
お持ちの場合について

## 買

### 買増請求

買い足して単元株 \* (100株)にする場合



まず、株券等の保管振替制度をご利用  
になっているかをご確認ください。

\* 単元株とは、銘柄ごとに定められている最低売買単位  
のことです。株主の方は1単元ごとに議決権を確保する  
ことができます。

## 売

### 買取請求

売却して現金化する場合



まず、株券等の保管振替制度をご利用  
になっているかをご確認ください。

① 保管振替制度を  
ご利用の方



お取引のある証券会社  
にお問い合わせください

## ② 保管振替制度をご利用でない方

### 買増請求書を入手

三菱UFJ信託銀行に「単元未満株式買増請求書」を請求します。

### 窓口または郵送でお手続き

「単元未満株式買増請求書」に必要事項を記入後、窓口または郵送にて提出し、「買増概算金」を支払います。

「買増概算金」とは？

買増概算金＝買増したい株式数×払込日前日の東京証券取引所における終値×1.3（1,000円未満は切り上げ）。価格変動を見込んで、あらかじめ多めに金額を支払います。

### 代金の精算と株券のお受取り

買増価格・買増代金の確定後、支払った「買増概算金」と実際の買増代金との差額を精算します。その後、配達記録郵便で送付される株券を受け取ります。

## ② 保管振替制度をご利用でない方

### 買取請求書を入手

三菱UFJ信託銀行に「単元未満株式買取請求書」を請求します。

### 窓口または郵送でお手続き

「単元未満株式買取請求書」に必要事項を記入し、窓口または郵送にて提出します。

### 買取代金のお受取り

買取価格・買取代金が決定し、単元未満株式買取請求書で指定した方法により代金を受け取ります。

### 株式お手続き用紙のご請求について

株式に関するお手続き用紙（届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取または買増請求書、名義書換請求書等）のご請求につきましては、下記にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

フリーダイヤル 0120-244-479  
(三菱UFJ信託銀行 本店証券代行部)

フリーダイヤル 0120-684-479  
(三菱UFJ信託銀行 大阪支店証券代行部)

インターネットアドレス  
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

なお、株券等の保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。

# 会社データ

平成 19 年 9 月 30 日現在

## 会社名

セガサミーホールディングス株式会社

## 英文表記

SEGA SAMMY HOLDINGS INC.

## 所在地

〒 105-0021

東京都港区東新橋一丁目 9 番 2 号

汐留住友ビル

## URL

<http://www.segasammy.co.jp>

## 設立

平成 16 年 10 月 1 日

## 資本金

299 億円

## 発行可能株式総数

800,000,000 株

## 発行済株式総数

283,229,476 株

## 従業員

117 名

## 役員および監査役

代表取締役会長兼社長

里見 治

代表取締役副社長

中山 圭史

取締役副会長

小口 久雄

専務取締役

石田 正

取締役

片本 通

鬼追 明夫

岩永 裕二

常勤監査役

家田 和忠

監査役

平川 壽男

宮崎 尚

榎本 峰夫

## 事業内容

総合エンタテインメント企業グループの持株会社として、  
グループの経営管理およびそれに附帯する業務

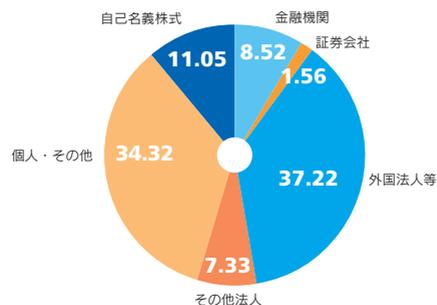
## 株主情報

平成 19 年 9 月 30 日現在

## 株主数

102,643 名

## 所有者別分布状況



## 大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
里見 治	43,569,338	15.38%
セガサミーホールディングス株式会社	31,286,305	11.05%
メロンバンクエヌエートリーティー クライアントオムニバス	16,418,122	5.80%
ヒーローアンドカンパニー	16,009,549	5.65%
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	15,299,335	5.40%
有限会社エフエスシー	14,172,840	5.00%
ザチエスマンハツタンバンクエヌエイロンドン	11,039,880	3.90%
モルガンスタンレーアンドカンパニーインク	5,795,987	2.05%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	5,506,500	1.94%
ジエービーモルガンチエースオツペンハイマー フアンズジャステックアカウント	2,862,800	1.01%



# FunBiz

## 株主メモ

### 証券コード

6460

### 1単元の株式数

100株

### 事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日

### 定時株主総会

毎年6月中

### 配当基準日

期末配当：毎年3月31日

中間配当：毎年9月30日

その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

### 公告の方法

電子公告により行います。

#### 公告掲載 URL

<http://www.segasammy.co.jp/japanese/index.html>

なお、止むを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行うものとします。

© SEGA

© 1999-2006 CCR INC, ALL RIGHTS RESERVED.

Published by SEGA / Illustrated by SANA TAKEDA

© Sammy

\* All company and product names in this report are the property of their respective owners.

### 株主名簿管理人

三菱UFJ信託銀行株式会社

### 同事務取扱場所

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

### 同連絡先

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

電話：0120-232-711（通話料無料）

### 同取次所

三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

当社株主名簿管理人の三菱UFJ信託銀行(株)のホームページでは、株式の名義書換、単元未満株式の買取または買増、その他株式に関する諸手続きについてご案内しております。なお、「株券等の保管振替制度」をご利用の方はお取引のある証券会社へご照会ください。

(三菱UFJ信託銀行のホームページ) <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

### 【お知らせ】

#### 配当金のお受取方法について

振込口座をご指定されておられない株主さまには従来、「郵便振替支払通知書」にて配当金をお受取り頂いておりましたが、平成19年10月1日に日本郵政公社が民営化されたことに伴い、「郵便振替支払通知書」に代わって「配当金額収証」にて配当金をお受取り頂くこととなりました(従前のとおり、もよりの「ゆうちょ銀行」または郵便局の貯金窓口にて配当金をお受取り頂くことができます)。



SEGA-SAMMY  
HOLDINGS

セガサミーホールディングス株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋一丁目9番2号 汐留住友ビル

